

# 教科指導講座報告

令和元年（2019年）11月6日（水）、北海道函館水産高等学校を会場に道南ブロック（数学）の授業改善セミナー（教科指導講座）を開催しました。胆振・渡島・檜山管内の公立高等学校及び私立高等学校から17名の先生方に参加いただきました。

本講座の実施内容等を紹介しますので、今後の授業改善の参考として御活用ください。

## 教科指導講座の概要

テーマ「新学習指導要領における『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善の推進」

### 本講座の概要

#### 【公開授業・研究協議】

函館水産高校 一楽 晶弘 教諭

数学Ⅰの「図形と計量」の単元において、主体的・対話的で深い学びの実現を図る工夫を取り入れた授業を参観しました。また、研究協議では、問題解決のための手立てや個への手立て、評価などの観点を設定し、本時の授業を踏まえて、効果的な指導の在り方などについて協議しました。

#### 【説明】

「新学習指導要領を見通した

授業改善の在り方」

「令和元年度高等学校教育課程編成・実施の手引」における新学習指導要領に係る質問事項などを踏まえ、数学的な問題発見・解決の過程を学習活動へ反映させるための指導の工夫や言語活動の充実など、授業改善の方向性について説明を行いました。

#### 【ワークショップ1】

長万部高校 館 龍之介 教諭

「コンセプトベースドラッシングを踏まえた授業づくり」

生徒に身に付けさせたい資質・能力の育成を目指して、単元のゴールを明確にし、各授業の指導計画を立て実施する取組等の発表や、生徒の理解を深めるための課題設定の在り方に係るワークショップを行いました。

#### 【ワークショップ2】

静内高校 山後 裕紀 教諭

「SCRUMの取組を生かした

本校での授業改善」

研究指定事業「SCRUM」の拠点校として取り組んできた主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善や数学的な見方・考え方を意識した考查問題の工夫等の発表や、授業改善の在り方に係るワークショップを行いました。

### 本講座の実施により期待される成果

課題解決に向けた「主体的・対話的で深い学び」の実現（「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業改善）、実践的な「教科指導力」の向上、ICTの活用、各学校における授業改善の視点の拡大、未来を切り拓く資質・能力を育む高校教育推進事業における研究の充実

## 教科指導講座の実施状況

**公開授業・研究協議** 数学Ⅰの「図形と計量」(正接の三角比)において、生徒はグループによる考察を通して、三角比の有用性について理解を深めていました。研究協議では、「授業評価ルーブリック」を用いて授業を振り返り、効果的な指導の在り方などについて協議しました。参加者からは「身近な題材を活用し、主体的に課題に取り組みせる工夫が取り入れられていた」、「理解を深めさせるために、生徒の発言をもっと取り入れてもよかった」などの意見が出されました。



### ワークショップ1 長万部高校 館 龍之介 教諭

館教諭は、各単元の冒頭の授業で単元指導計画を配布して、生徒に学習の見通しをもたせるとともに、新学習指導要領で示されている「算数・数学の学習過程のイメージ」を意識した授業改善等を通して、「何ができるようになるか」を明確にして授業をデザインする取組などを紹介しました。また、参加者は、館教諭の発表を参考にして、単元のまとめとして生徒に取り組みせる課題について具体的な方策を考察しました。



### ワークショップ2 静内高校 山後 裕紀 教諭

山後教諭は、研究指定事業「SCRUM」の取組の一つとして、相互授業見学の活性化に向けた取組や、授業のねらいを踏まえて、講義を中心とした「習得型」と生徒の活動を中心とした「探究型」に分けた授業改善の取組などを紹介しました。また、参加者は、ねらいの実現に向けて効果的に授業改善を進めるための方策について、KJ法を用いて意見の交流や協議を行い、授業改善の在り方に対する理解を深めました。



### ワークショップ 『問い』の設定から始める授業改善

本日の講座のまとめとして、参加者が、各単元における学習内容や本時の目標を明確にした「問い」を設定するとともに、「問い」を踏まえた指導計画を作成した上で、グループになり、効果的な「問い」の設定や本時の目標と「問い」とのつながりなどについて研究協議を行いました。参加者からは「今後、授業の目標を明確にした『問い』を設定するとともに、適切な学習評価の充実につなげたい」という声がありました。



## 教科指導講座参加者の声

### 【参加者の声(一部)】

- 設問の工夫の視点などを得ることができ、今後の授業デザインの参考となった。
- 単元の指導計画の重要性を再認識することができた。ねらいの実現に向けた「問い」の設定を意識して、授業を行っていきたい。
- 生徒の目的意識を明確にすることや適切に観点別学習状況の評価を実施することについて理解が深まった。今後、学習者の視点を意識して授業改善に取り組みたい。
- 「生徒にどのような力を付けるか」という目標を定め、その実現を目指した指導の工夫を効果的に取り入れることで、一層、数学的に考える資質・能力を育成することができると思った。

### 【参加者アンケートの結果(一部)】

- 1 紹介した教材や指導方法は活用できますか
  - ・大いに活用できる **23.5%**
  - ・活用できる **70.6%**
- 2 「主体的・対話的で深い学び」の実現や教材、指導方法の理解は深まりましたか
  - ・大いに深まった **17.6%**
  - ・深まった **76.5%**
- 3 本講座は本道の学力向上のための教科指導力の向上に役立つと思いますか
  - ・大いに役立つ **23.5%**
  - ・役立つ **76.5%**

今回のこの報告は、次のウェブページに掲載しております。

<渡島教育局ウェブページURL>

[http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/oky/20\\_koukou/koukou\\_home.htm](http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/oky/20_koukou/koukou_home.htm)